

3 年次後期・選択

1 単位・15 時間

【概要・目標】

(概要) リエゾン精神看護とは、一般診療科（身体科）の患者の心の健康問題（抑うつ状態、不安、トラウマ体験など）に対し、精神看護の知識と技術を用いて看護を展開することである。リエゾン精神看護学 I では、心の健康問題を有する身体疾患を持つ患者の精神状態の査定、介入方法について具体的な事例を用いて学ぶ。

(目標) 患者の精神状態を査定、問題を明確にすることで、患者の精神的諸問題に対し早期発見及び早期介入ができることを目指す。また、その精神的諸問題に介入することで患者の不応を最小限に抑え、身体疾患の治療の長期化を予防することを目指す。

【授業内容・スケジュール】

- 1) リエゾン精神看護の概要について、コンサルテーションのタイプについて
 - 2) ストレスの基礎知識、精神状態の査定
 - 3) ① 抑うつ気分が強い患者の看護
 - 4) ② 不安が強い患者の看護
 - 5) ③ がん患者の精神的諸問題の特徴とその看護
 - 6) ④ 周産期のメンタルヘルス
 - 7) ⑤ 惨事ストレス、トラウマケア
 - 8) ⑥ 虐待及び Domestic Violence の被害者の身体的アセスメントの方法
法医学の立場から（法医学：近藤教授）
-

【評価】

試験（70%）、授業への参加状況（30%）

【教科書】

随時資料を提示する。

【推薦参考図書】

- ・武用百子編著：リエゾンナースと考える「困りごと」にどうかかわるか、ナースツールズ、2011.
 - ・野末聖香編：リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために、医歯薬出版株式会社、2004.
 - ・野末聖香、宇佐美しおり編著：精神看護スペシャリストに必要な理論と技法、2009.
-

【その他】

メールアドレス momo-bu@wakayama-med.ac.jp